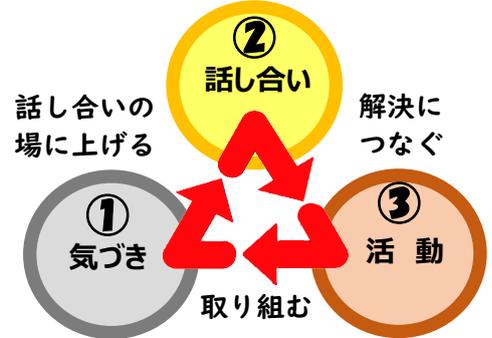


大和郡山市社会福祉協議会では、「地域の課題解決力を育む地区社協づくり」を目指して、地区社協と協働で、課題解決サイクル「地区社協 大和郡山モデル」の構築に向けて取り組んでいます。

【地区社協 大和郡山モデル】

- ①住民同士がつながりを持ち、生活・福祉課題に気づく (発見する)
- ②住民参加による生活・福祉課題を共有、解決する
- ③生活・福祉課題を共有し、新たな活動を生み出す



筒井ネットワーク会議を開催しました

筒井地区では、様々な団体が活動していますが、地区懇談会や自治会アンケートから4つの課題が挙がりました。

- 他の組織・団体の活動を知らない
- 自治会単位での課題解決には限界がある
- 誰が、どのようなことで困っているかわからない
- 気軽に集える場所がない (地域にある集いの場を知らない?)

そのため、地域活動に取り組んでいる団体が一堂に会し、筒井地区の福祉について話し合う会議「筒井ネットワーク会議」を開催しました。第1回は、顔の見える関係づくりからということで、参加団体の活動紹介を中心に行いました。日頃から活動しているのでお互いに知った顔ばかりですが、改めてそれぞれの活動を聞き合うことで、「筒井地区を良くしようという思いは同じ。横の連携をとって活動する必要がある」ことを確認しました。

【筒井ネットワーク会議】

- 横のつながりをつくる場 → 困った時に助け合える関係づくり
- 地域の課題共有をする場 → 地域住民への切れ目のない支援体制
- 課題解決を話し合う場 → 一団体だけでは解決が難しい課題に対する連携体制

今後の課題として、

- 新しい担い手の発掘と育成
- 横の連携の強化
- 共通の課題から地区全体で取り組むことの検討

があり、それぞれが抱える課題の共有、情報共有、相互連携できる仕組みづくり (ネットワーク化) に向けて、定期的開催していく予定です。

【参加団体】

- 筒井地区社会福祉協議会 (自治連合会、民生児童委員協議会、白寿会、子ども会、保護司会、各部長)
- ふれあいいいきサロン (3団体)
- いきいき百歳体操 (5団体)
- 認知症カフェ「わろてんか」
- 第三地域包括支援センター
- 生活支援コーディネーター
- こども食堂
- 市社会福祉協議会



<見守り部会>

見守り部会では、70歳以上のひとり暮らし高齢者（希望者のみ）を対象に、民生委員やボランティアが月2回訪問し安否確認を行う「ひとり暮らし高齢者等見守り事業」を行っています。数年前に比べて利用者が減少していることもあり、地域の現状や筒井地区で必要な見守り活動について意見交換しました。

70歳以上の元気な高齢者が多い一方、老老介護・認認介護の問題を抱えている高齢者夫婦や8050問題等、対象者以外でも見守りが必要な家庭があるとわかり、地域で気になる人がいても民生委員につながる事が少ない、誰が困っていてどんなことに困っているかわからない状況であるという意見がありました。地域で「気になること」があった時につなげる仕組みや、地域の課題解決に向けて話し合う場づくりについて意見交換を続けていきたいと考えています。

【用語説明】 老老介護…高齢者の介護を高齢者が行うこと。

認認介護…高齢の認知症患者の介護を認知症である高齢の家族が行うこと

8050問題…65歳以上の親と、仕事に就かず親の収入で生活している40歳以上の子どもが同居している世帯

<移動支援アンケートの結果報告>

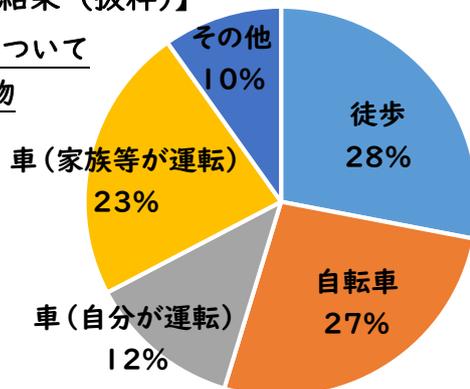
高齢者の移動支援について、緊急連絡カード(※)を発行している75歳以上の高齢者(172人)を対象に、移動手段や行き先等についてアンケート調査を行いました。

具体的な移動支援についてまだ検討はできていませんが、住民の助け合い活動の中で取り組める移動支援について検討していきたいと考えています。

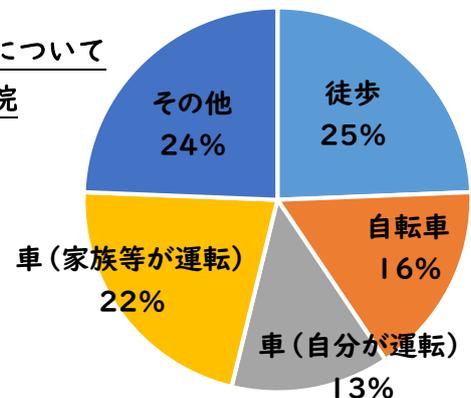
※概ね65歳以上の方で、ひとり暮らし、ふたり暮らし、昼間ひとり暮らしの世帯を対象に、何かあった場合に備えて、家族の連絡先やかかりつけ医等の情報を記載した「緊急連絡カード」を発行しています。希望される方は、地域の民生委員または市社会福祉協議会へお問合せください。

【アンケート結果（抜粋）】

移動手段について
買い物



移動手段について
通院



【地区社協ってなに?】

市内には8つの地区社会福祉協議会（略して地区社協）があり、地域住民をはじめ、自治会、民生・児童委員、老人会、PTAなど、各種団体やボランティアらが主体となって、住民一人ひとりの生活・福祉課題を地域の課題として受けとめ、「誰もが安心して暮らすことのできるまちづくり」を推進する住民組織です。住民相互の支えあい活動を広げるため、講演会や世代間交流事業を開催したり、高齢者の見守り活動や健康づくりなどに取り組んだりしています。

高齢化が進むなか、住み慣れた地域で暮らし続けるためには、住民同士のつながりや見守り、支えあいの仕組みが必要となります。

生活支援体制整備事業では、地域の皆様とともに身近な地域での支え合いの地域づくりを進めます。（大和郡山市受託事業）

【問合せ】大和郡山市社会福祉協議会 福祉課

大和郡山市植槻町3-8 社会福祉会館内

電話 53-6531 / FAX 55-0986